

テクニカルドキュメンテーションII

3つのC

2025.04.11 Kenichi Wakabayashi

3つのC

読み手に伝わるように書くための3つの要素

- Coorect（正確に）
- Clear（明確に）
- Concise（簡潔に）

Correct（正確に）

「正確に書く」ことは3つのCの中でも最も重要。

- 対象となる読み手に内容を正しく伝えること
- 正確でなければ、誤解が生じ、大きな損失や事故に繋がる
- 単位の誤記や手順の誤りによって意図しない結果が生まれる
- 場合によっては誤って伝わる場合もある

日本語でも英語でも語順や構文が意味に直結するため、単語の位置を間違えると、意図した内容と異なる解釈をされかねません。正しい表現を使用することが、文章全体の信頼性を高めるうえで必須です。

Correctの例

メモリモジュールは大きいです : The memory module is large.

メモリモジュールの容量は大きいです : The capacity of memory module is large.

Clear（明確に）

「明確に書く」ことは、正確さを担保します

- 誰が読んでも同じ意味に理解できるように
- あいまいな表現を避ける
- 読み手の知識レベルに合わせて、必要な情報を提供する

Clearの例

Heat the structure sufficiently.

- Heat the structure for 5 minutes.
- Heat the structure to 100°C.

Concise（簡潔に）

「簡潔に書く」ことは、明確さや正確さを高めます

- やさしく短く表現することで、誤りが起こりにくくなる
- かといって、言葉を削りすぎるのもよくない
- ひとつのセンテンスを短くまとめる
- 単調になりがちなので、リズムには注意する

Conciseの例

以下に、マザーボードの簡易説明を示す : The following gives a brief description of the motherboard.

以下に、マザーボードについて簡単に説明します。 : The following briefly describes the motherboard.